

## 平成26年度 第9回調査・研究企画会議 議事概要

1 日時：平成27年1月23日（金）10：00～17：10

2 場所：食品安全委員会中会議室

3 出席者（8名）五十音順

圓藤 陽子（(独)労働者健康福祉機構関西労災病院  
勤労者医療総合センター・産業中毒センター長）

尾崎 博（国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

鬼武 一夫（日本生活協同組合連合会品質保証本部安全政策推進部部長）

川村 孝（国立大学法人京都大学環境安全保健機構健康科学センター長）

熊谷 進（食品安全委員会 委員長）

◎佐藤 洋（食品安全委員会 委員長代理）

山添 康（食品安全委員会 委員長代理）

三森 国敏（食品安全委員会 委員長代理）

（◎：座長）

その他、事務局から姫田事務局長ほか11名が出席

4 議題

（1）平成26年度採択研究課題（課題番号：1402、1403、1404、1406）及び平成25年度採択研究課題（課題番号1301）の中間評価（ヒアリング審査）

（2）平成26年度終了予定研究課題（課題番号：1302、1303、1304、1305、1401、1405、1408）の進捗状況の報告

（3）平成27年度新規採択研究課題の事前評価結果（案）について

（4）その他

5 議事概要

（1）平成26年度採択研究課題（課題番号：1402、1403、1404、1406）及び平成25年度採択研究課題（課題番号：1301）の中間評価（ヒアリング審査）

○ 平成26年度に採択した8課題のうち、研究期間が1年の3課題を除く以下の4課題について、次年度への研究の継続の要否、研究計画の見直し等について審査するため、また、平成25年度に採択した研究期間が2年の以下の1課題について、研究期間の延長の要否等を審査するため、各研究課題の主任研究者に対してヒアリング審査を実施した。

※平成26年度に採択した残りの1課題（1407：食品中ヒ素の代謝物ジメチルモノチオアルシン酸の発がん性に関する研究（鰐淵英機（大阪市立大学）））については、次回の調査・研究企画会議において中間評価（ヒアリング審査）を実施する予定。

- 中間評価結果については、本日の審議の内容も踏まえた上で事務局にて評価所見として取りまとめ、次回の調査・研究企画会議で審議し、中間評価結果（案）を決定することとなった。

<平成26年度採択課題>

- ・ 1402：レチノイン酸の濃度変化を引き起して催奇形性を示す化学物質のスクリーニング法の開発と催奇形性発症の分子機構の解明（永田清（東北薬科大学））
- ・ 1403：熱帯性魚類食中毒シガテラのリスク評価のための研究（大城直雅（国立医薬品食品衛生研究所））
- ・ 1404：食品摂取により発症する新規アレルギー／アレルギー様反応に関する調査研究（柘植郁哉（藤田保健衛生大学））
- ・ 1406：低水分含量食品中における食中毒細菌（サルモネラ、腸管出血性大腸菌）の菌数変動および生存確率予測モデルの開発（小関成樹（北海道大学））

<平成25年度採択課題>

- ・ 1301：ヒト型遺伝子改変マウスを用いた非定型 BSE の人に対する感染リスクの定量的評価（松浦裕一（（独）農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所））

- (2) 平成26年度終了予定研究課題（課題番号：1302、1303、1304、1305、1401、1405、1408）の進捗状況の報告

- 平成26年度に研究が終了する予定の以下の7課題について、事務局から、平成26年12月末現在の研究の進捗状況を報告した。
- 審議において、一部の研究課題について確認が必要とされた事項があったため、事務局から当該課題の主任研究者に確認し、その結果を次回の調査・研究企画会議で報告することとなった。

<平成25年度採択課題>

- ・ 1302：核内受容体作用と酵素誘導解析を基盤とした、化学物質による肝肥大の毒性学的評価に関する研究（吉成浩一（静岡県立大学））
- ・ 1303：化学物質により誘発される肝肥大の毒性学的評価手法の確立と今後の問題点（吉田緑（国立医薬品食品衛生研究所））
- ・ 1304：遺伝毒性発がん物質のリスク評価手法に関する研究（小野敦（国立医薬品食品衛生研究所））
- ・ 1305：食用動物由来薬剤耐性菌の定量的食品健康影響評価モデルの確立（田村豊（酪農学園大学））

<平成26年度採択課題>

- ・ 1401：香料化合物のリスク評価手法に関する調査研究（山崎壮（実践女子大学））

- ・ 1405：肝マクロファージの機能特性に基づいた肝毒性の新規評価手法の構築と緻密化（山手丈至（大阪府立大学））
- ・ 1408：食品からのアクリルアミド摂取量の統計的推定に関する研究（鈴木規之（(独)国立環境研究所））

(3) 平成27年度新規採択研究課題の事前評価結果（案）について

- 前回の調査・研究企画会議において事前評価（ヒアリング審査）を実施した12課題について、事務局が取りまとめた各課題の評価所見（案）を提示し、審議を行った。
- その結果、各課題の評価所見（案）の文言について、本日の審議を踏まえて一部修正した上で、次回の調査・研究企画会議で再度審議し、新規採択課題（案）を決定することとなった。

(4) その他

－食品安全確保総合調査事業の事後評価方法について

- 平成25年度第6回調査・研究企画会議（平成26年1月30日開催）において了承された食品安全確保総合調査事業の事後評価方法について、事務局から改定案を提示し、案のとおり了承された。

－食品健康影響評価技術研究事業における各種様式の改定について

- 平成26年度第4回調査・研究企画会議（平成26年8月28日開催）での審議を踏まえて事務局にて修正した食品健康影響評価技術研究事業における各種様式（年次計画書、研究成果中間報告書及び研究成果報告書）の改定案について事務局から説明し、審議を行った。
- その結果、年次計画書については、研究全体（2年間）の計画の記載欄を削除することや申請時の達成目標の記載欄を盛り込むこと、研究成果中間報告書及び研究成果報告書については、申請時に申告した達成目標の自己評価結果の記載欄を盛り込むこと等が了承され、平成27年度実施分の研究から新様式を採用することとなった。

－以上－

(注：本会議は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。)